

「核と人工物の歴史と科学」 2010年8月11日(水)～9月5日(日)

場所 上野本館 地球館2階「科学と技術の歩み」展示コーナー
主催 独立行政法人 国立科学博物館
後援 情報知識学会、日本学術会議国際サイエンスデータ分科会、
日本学術振興会、原子炉材料第122委員会、
日本原子力学会核燃料部会、CODATA(科学技術データ委員会)
※通常入館料のみでご覧いただけます。



【展示趣旨と概要】

私たちの暮らしを支えるエネルギー技術のひとつとして核エネルギー技術があります。核エネルギー利用に関してはたくさんの議論がありますが、今回の展示ではインターネットでアクセス可能なデータを使って核エネルギー利用に関わった人間の活動を様々な視点から無心に眺めてみたいと考えました。

- 歴史の面白さに関しては様々な現場の人々の生の声を集めたオーラルヒストリーを一枚のパネルにまとめて示してみました。展示の建白書、要望書から時代を拓く時の息使いを感じて下さい。
- 科学として面白さに関しては、科学を楽しむための基礎的なデータへのアクセスポイントをそとパネル説明に埋め込んでみました。最新の品質の高い科学技術データがまとめられていますのでデータを眺めていると新しい発見があるかもしれません。
- 技術と人工物に関する面白さはデザインの多様性にあります。パネルやバナーで多様性の背景にある基盤の説明を試みました。燃料集合体模型の構造や、ウランガラスの微妙な色合いにはたくさんの意味があります。
- 核としての面白さは「臨界チャート」から感じて下さい。そこには「日本の原子炉サイト」や「世界の原子炉」の原点があります。

豊かで持続可能な文明を築くためには人々の建設的な議論の積み重ねが必要です。高品質の科学技術データを出発点にした着実な道筋を探ってみたいと考えています。

国立科学博物館 理工学研究部客員研究員／東京大学大学院教授 岩田修一

国立科学博物館 〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20

開館時間：午前9時～午後5時(金曜日のみ午後8時まで) ※8/7(土)～8/15(日)は午後6時まで、8/13は午後8時まで開館

電話 03-3822-0111(代) 国立科学博物館ホームページ <http://www.kahaku.go.jp>



核と人工物の歴史と科学

$$E=mc^2$$
$$m=m_0/\sqrt{1-v^2/c^2}$$